

きらりとひかり、命をまもる 反射材を身につけ 反射材を ましよう

一緒に反射材を
つけようね！



書道コンクール
キャラクター「キョジョー」
© 2006 JA-KYOSAI



これからぼくたちが
反射材のことを教えるよ！

交通安全ポスターコンクール
キャラクター「ガジョー」
© 2006 JA-KYOSAI

暗い道はあぶないよ

夕方から夜間の死亡事故率*は昼間の約2.6倍になります。暗くなると車の運転者から歩行者が見えにくくなり、重大な事故が発生しやすくなるためです。

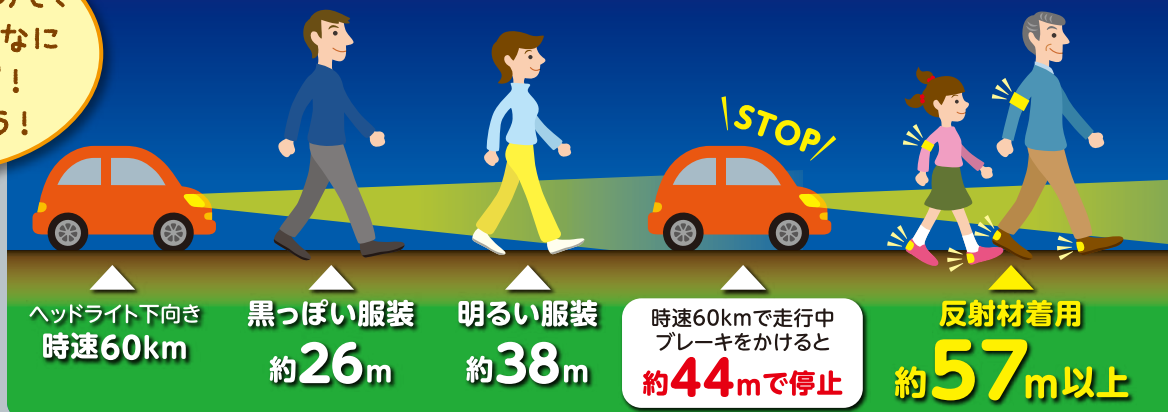
運転手が夜間、歩行者に気付く距離は、約25m～40mとされていますが、図のように車が時速60kmで走っている場合、停止するまでに約44mが必要です。一方で、反射材を身に着ければ、約57m以上手前で運転者は歩行者に気付くことができます。暗い道を歩くときは、反射材を身に着けましょう。

※交通事故全体に占める死亡事故の割合

服装別 ヘッドライトを当てたときに発見できる距離

出典：一般社団法人日本反射材普及協会資料より

身に着けるもので、
見え方がこんなに
ちがうんだ！
気をつけよう！



この結果は※JPマーク  のついた製品によるものです。※JPマークとは・・・関係省庁・団体・有識者により構成された委員会において審査され、反射効果の高い製品に付与されるマークです。

暗い道を歩くときのポイント

明るい色の服装や反射材の効果が、どのくらいあるのか、見てみよう！

ポイント 1 明るい服装



暗い色の服だと見えにくく、明るい色の服のほうが目立つね！

ポイント 2 反射材



反射材は、光を反射して、きらりと光るんだよ！ かわいいね！

★ 夜間に多い 高齢歩行者の交通事故

夜間歩行中の交通事故死者の半数が、高齢者です。夜間歩くときは、運転者から見やすいように、明るい目立つ色の衣服を着用したり、靴、衣服、かばん、杖などに反射材をつけたりするよう家族みんなで声をかけあいましょう。



靴



衣服

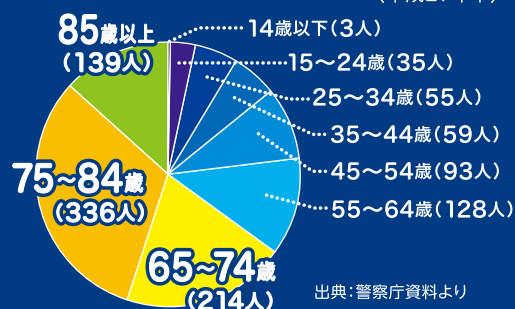


かばん



杖

〈夜間・年齢別・歩行中交通事故死者数〉
(平成27年中)



出典：警察庁資料より

家族みんな

反射材をつけようね！

香道コンクール
キャラクター「キョジョー」
© 2006 JA-KYOSAI

交通安全ポスターコンクール
キャラクター「ガジョー」
© 2006 JA-KYOSAI

JA共済地域貢献活動ホームページ
<http://social.ja-kyosai.or.jp>

JA共済地域貢献活動ホームページでは、世代別の交通安全DVDが
無償でダウンロードできます。詳しくは左記ホームページをご覧ください。

地域社会の安心や安全のために。
JA共済の変わることのない取り組みです。

JA共済は人と人が助け合う「相互扶助」の精神のもと、共済事業と
地域貢献活動を通じて、地域の皆様が健康で安心して暮らせる豊かな
環境づくりに貢献していきたいと考えています。

JA共済